

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆4月の消費者心理、5カ月連続低下 判断「弱含んでいる」に下方修正

・内閣府が発表した4月の消費動向調査で消費者態度指数(2人以上の世帯)は前月より2.9ポイント低い31.2。5カ月連続で低下。基調判断は「弱含んでいる」と3カ月ぶりに下方修正。指標を構成する4項目すべてが前月と比べ下がった。「米国の関税措置の影響で先行きの不透明感が高まり、消費者マインドを押し下げている可能性」と指摘。

#### ◆4月前半の消費、3.0%増 大型連休の日並び悪く旅行減速

・ナウキャストとJCBはクレジットカード決済額に基づく4月前半の消費データを発表した。名目で前年同期比3.0%増えたものの、3月後半より伸びは鈍化した。旅行の消費が減速したほか、4月からの値上げの影響で酒屋の消費も落ち込んだ。サービス消費のうち旅行は1.3%増と3月後半から3.3ポイント下がった。

#### ◆マイナ保険証の利用率、3月27.26% 伸びは鈍化

・厚生労働省はマイナンバーカードに健康保険証の機能を載せた「マイナ保険証」の3月の利用率が27.26%だったと明らかにした。2月(26.62%)から0.6ポイントほど上昇。従来の健康保険証の新規発行を停止した2024年12月(25.42%)以降の伸びは鈍化。従来の保険証を使えるのは最長で25年12月1日までとなっている。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆ヤマト運輸、10月から宅急便値上げ 全社平均で3.5%

・ヤマト運輸は10月から宅急便の運賃を平均で3.5%値上げすると発表した。縦と横、高さの3辺の合計で120センチメートルから200センチメートルまでの荷物が対象で、ゴルフやスキー用具の宅急便の運賃も引き上げる。値上げは2024年4月以来になる。自社や配送委託会社の従業員の賃上げや高騰する燃料費に充てる。

#### ◆省エネ2025キャンペーンのワンストップ申請、4月28日から開始

・国土交通省、経済産業省、環境省の3省連携による補助事業「住宅省エネキャンペーン」で、リフォームのワンストップ申請(戸別)が開始。リフォーム工事の情報を全て入力すると、子育てグリーン住宅支援事業、先進的窓リノベ2025事業、給湯省エネ2025事業、賃貸集合給湯省エネ2025事業の4事業から最も補助額が高い組み合わせを計算。

#### ◆再生材活用のEV電池、28年にも市場流通へ 欧州規制に備え

・電気自動車(EV)向けの蓄電池に国内で精錬する再生材を用いる試みが始まる。経済産業省は2028年にも、生産過程で発生した端材を用いた蓄電池の市場流通を目指す。技術開発の補助や法律での義務付けを通じて企業の対応を促す。31年からの欧州連合(EU)の電池規制に備える。

### 《 注目商品 》

#### ■パナソニック、一体型ベースライトに「環境特化タイプ」

・ライフサイクルCO2の排出量低減を目指した照明器具「一体型ベースライト iDシリーズ ライトバー『環境特化タイプ』」を発売。新製品の「環境特化タイプ」は、原材料調達時から生産時、使用時のCO2排出量低減を目指して開発。使用時のCO2発生を低減。



#### ■組み合わせ自由、軽量コンパクトな置き畳

・軽量でコンパクトな縁なしの草置き畳「湊川(みなとがわ)」を発売した。約65×65cm、重さは約750gと、従来の置き畳(82×82cm)よりも1回りコンパクト。好み・スペースにあわせて自由に組み合わせ、住まい手自身でカットすることもできる。



#### ■ノダ、石目調化粧シートの防音フロア「クオルテ防音45」

・直貼り施工の防音フロア。大理石をモチーフにした石目調化粧シートに、ハードコート仕上げと抗菌処理を施した。擦りキズがつきにくく、ワックス不要。水や汚れが染込みにくく、食べこぼしなども拭きとりやすい。表面に付着する各種細菌の繁殖を抑制。

